

# 青少年委員だより

いよいよ地域の活動が復活

第161号



子どもは地域で育つ

青少年育成地区委員長会

会長 田中稔家

子どもたちへの大きな関心と深い理解のもと愛情を持って日頃から献身的に活動し、ご尽力いただいている青少年委員の皆様にご心から敬意と感謝を申し上げます。

昔から「子どもは地域で育つ」と言われ、地域でいろいろな行事に参加して、異年齢の友と遊び、大人とのかかわりの中で様々な体験をすることによって成長していきます。

それが、近年の都市化、IT関連等の急激な発達により、青少年をとりまく社会環境は大きく変化すると共に人々の意識も変わり、「地域の教育力」が低下してきました。これは、由々しき問題でもあります。ですが最近になって次代を担う子どもの育成の大切さを再認識し、行政、教育機関を始め地域の諸団体、新しく生まれつつある会が動き始めたことは喜ばしいことです。

ですが現代の発達した社会の中で個々の孤立した活動では成果はおぼつかないものです。子どもを取り巻く全ての団体、教育機関、そして一番身近な親、家庭のそれぞれが固有の役割を果たすと共に、思いを一つにし、お互いに補完しあうことで総体的に行動していくことを心掛けることが肝要です。

青少年委員の皆様は公に願われた指導者です。地域の方々の期待と応援して下さる皆様の力を借りながら、共に協力しあうことで活躍していただけることを心より願っております。

# 青少年委員制度70周年記念事業に向けて



令和2年初頭から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、活動に制限がかかり窮屈な思いをした時もありましたが、最近になり少しずつ色々な活動ができるようになりました。青少年委員の70周年行事に皆様も期待してください。



江戸川区青少年委員会

会長 川島 英夫

多くの皆様に支えられて青少年委員制度発足70周年を迎えることができました。これもひとえに歴代青少年委員、関係諸機関の皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝と御礼を申し上げます。

私たち江戸川区の青少年委員は、講演・式典・祝賀会部会、パネル展示・イベント部会、記念誌発行部会の3部会に分かれてそれぞれが企画・運営をしながら令和5年11月26日の70周年記念事業当日に向けて動き出しております。

## 講演・式典・祝賀会部会



「みんなの学校」パンフレット  
予告編（動画が再生されます）



<http://minna-movie.jp/trailer/>

部長 村上 則俊

### 映画「みんなの学校」を上映します

今、江戸川区には、足りないものがあります……。こんな学校が、実際にあるんだ！ このドキュメンタリー映画を通して、子どもたちの教育とは何か、感じとりましょう。そして、みんなでこれからの江戸川区の将来を考えましょう。

この映画の中には、悩み・問題・課題・足りないものを解決できる糸口が見える「等身大の学校」がありました。『たったひとつの約束』ここから、絆が生まれます。世界が変わります。

この映画を、観ていただき、何かを、感じて欲しいと思います。そして、ご自身が感じたことを、子どもたちへ、自分の地域の方々へ、職場の方々へ、伝えて下さい。これが青少年委員会からのメッセージです。

未来の江戸川区を築くのは、皆さまです。青少年委員は、常に健全育成に必要な「調査」や「研究」を行い、地域に密着した活動を行っています。

## 記念誌発行部会

つなげよう！ 笑顔と元気な活動を

現在、青少年委員制度70周年記念事業の一環として記念誌の作成をおこなっています。

この記念誌は、60周年以降の青少年委員の活動を江戸川区の自治や教育に関わる諸団体や学校、退任された青少年委員の皆様にお知らせするとともに、今後、80、90、100周年と未来に向けた活動の参考としてもらうことを目的に作成しています。

この10年間の活動の内容を記載しますので、お手元に届きましたら一読ください。

部長 鷺尾 斎



## パネル展示・イベント部会

キャラバン隊が区内を巡ります

青少年委員制度70周年記念にあたり、70周年である事をPRする目的として、「70周年ののぼり」と「江戸川区青少年委員会の全体概要・地区部会活動・研究グループ活動のPRパネル」を作成します。完成したのぼりとパネルを地区部会ごとのイベントや他団体への応援時に展示、説明をして70周年を盛り上げていきたいと考えています。

部長 安次富 宏行



70周年ののぼり



パネル「江戸川区青少年委員会の全体概要」



パネル「研究グループ活動」



パネル「地区部会活動」

## 地域での活動紹介

3年ぶりに様々な行事が動き出しています！

### ふるさと江戸川の海で、水害から命を守る 防災訓練と、里海の生き物多様性を学ぶ

葛西第二地区委員会は、毎年10月に葛西海浜公園西なぎさで地区11小学校の児童を対象に「防災訓練Eボート操船体験と西なぎさ生き物調査」を開催しています。

子どもたちは海上でEボート（水難救助用手漕ぎカヌー）を操る体験を通じ水害時に命を守る勇気と技を学びます。生き物調査では身近な海が世界に誇る大都市のラムサール条約湿地であり、そこで捕まえた生き物たちが豊かな生物多様性と命の連鎖を営んでいることを学びます。

このイベントは平成27年に始まり、協力は都立葛西臨海公園、海浜公園、臨海水族園、江戸川区子ども未来館、操船には臨海町の警視庁第二機動隊ボート部も参加し、感染対策も万全に、協力者の輪が広がっています。



## 野外映画会

小岩中部地区委員会では、夏の終わりに小学校の校庭を使い野外で映画を上映しています。親子野外映画会と表題し、児童と保護者に加え幼児や中学生も参加するイベントで、3年前は参加者が800人を超えるほど地域に根付いた行事でした。

3年ぶりに映画会を開催するにあたり、東京都の指針より、校庭の面積から計算して定員を400名とし、対象を小学生だけと決めました。

参加者には開催当日の昼間に氏名や連絡先を記入した申込書を提出させる事前申込制を採用しました。映画鑑賞時には、1枚のブルーシートに15名と限定して座らせ、感染症対策としました。

友だちと一緒に、寝ころんで映画を楽しんでいる子どもたちを見ていると、まずはこの野外映画会を開催できたことに喜びを感じました。



## 新堀小フェスティバルが開催できました



ちびっこ相撲

学校応援団主催にて、3年ぶりに「新堀小フェスティバル」が開催できました。目的は、「防災意識を高める・地域活性をめざす」ことです。新堀町会防災部と江戸川区地域防災課の協力のもと備蓄庫見学や起震車体験を行いました。遊びのコーナーでは校庭開放諸団体、PTA、子ども会、ジュニアリーダー、なごみの家鹿骨、青少年委員、スポーツ推進委員の協力をいただきながら工作やスポーツ体験ができました。後半は前PTA会長である、伊勢ノ海部屋甲山親方より相撲体操の指導を受けてから、ちびっこ相撲トーナメント戦を行いました。今回初の試みで、準備から片付けまで春江中学校ボランティアの皆さんが協力してくれました。お陰で、滞りなく終了できました。久しぶりのイベントで大人も子どもも楽しく参加できました。



起震車体験



ポッチャ

## 氷上の格闘技を彷彿！ ネオホッケー大会!!

3年ぶりに声なき闘志のぶつかり合いが下鎌田小学校体育館に帰ってきた。令和5年2月19日(日)青少年育成瑞江地区委員会主催「第34回ネオホッケー大会」が大会関係者の努力により無事に開催する事ができた。これは大会開催へ向けた大人たちの闘いの全記録である。

12月初旬、実行部隊である我ら青少年委員含む育成事業部会が開催され満場一致で大会の開催を採決。ただしこれまで通りには出来ない。どうすれば大会を無事に開催できるのか。我々とコロナとの闘いが始まった。

スポーツ大会を行う際の感染予防対策は、都や他の自治体、競技団体の事例を参考にした。チーム編成は日ごろ活動を共にするクラスメイトや児童野球のチームメイトをベースとするなど、感染リスクの軽減を図った。出場申込み締切前日、大会関係者は啞然とした。申込みはたったの2チームだった。

更なる闘いが始まる。感染防止の有効性、子どもたちへの活動経験機会提供の必要性を学校関係者、保護者、大会を取り巻く多くの大人たちへ時間の限り訴えた。出場チームは「9」となった。これで大会が開催できる、熱いモノがほほを伝うのを感じた。

大会当日、センターサークルに静かな歓喜の輪が出来た、「徳川バナナ軍」が頂点に立った。コロナ前の大会には及ばないが一歩一歩前へ進む大切さを学んだ。

注：ネオホッケーとは体育館で行うアイスホッケーに似た新スポーツ



### おもしろ工作研究グループ

## 手作りの楽しさ、大切さを子どもたちに

私たちおもしろ工作研究グループは青少年委員会活動や各地域の工作教室で、もの作りをおして子どもたちに「手作りの楽しさと大切さ」を知ってもらうことを目的に今期13名で活動しています。

担当メンバーが月1回の会合でそれぞれが研究した作品を持ち寄り、改良点を討議して作品の完成度を高めています。最終的に成果物として「もの作りマニュアル」を作成しています。完成した「もの作りマニュアル」を各地区部会や地域・他団体へも提供しています。

最近研究した作品は以下の通りです。

文責 小松川地区部会

近藤 幹郎



わくわくレクリエーション研究グループ



葛西北地区部会  
森口 安子  
文責

地域で行われている様々な子どもたちとのイベントで、いつでもどこでも出来る、天候に左右されず有効に活用されるレクリエーションは大切なコミュニケーションのひとつと言えます。目的別に習得し実践していくことを目指して活動しています。

コロナ禍で何も出来なかった時から、今また少しずつ子どもたちとのイベントが行われるようになってきました。イベントやお祭りの中で、レクリエーションは初めや終わりなどやちよつとした時間の合間に子どもたちと一緒に楽しむ事が出来ます。

私たちは、地域、学校、PTA、すすくスクール等のイベントやゲーム大会等をやる時に、一緒に会を盛り上げのお手伝い出来ます。青少年委員へお声がけてみてください。



レクリエーションの一例

新たな仲間との出逢いに感謝！



東京都青少年委員会連合会の地域ブロック再編により、我が江戸川区は北区、墨田区と共に『城北ブロック』となった。

令和4年12月17日(土) 北区を幹事区としてブロック研修会が開催された。桜の名所である飛鳥山公園に集まり、北区の学芸員さんによる飛鳥山の由来(吉宗公と桜)、ここに居を構え海外のお客様を迎えた渋沢栄一について解説を受け、公園内の博物館等を見学。その後、さくらトラム(旧王子電気軌道)に乗車、場所を昭和町ふれあい館へ移し、各区の活動紹介・レクリエーション・研修会の感想発表で懇親を深めた。

楽しく有意義な時間を演出して下さいました。北区青少年委員会の皆さまへ感謝申し上げます。吉宗公と桜と小松菜、渋沢栄一と王子製紙(王子マテリア)等、北区と江戸川区は深い縁で結ばれていることを強く感じ、研修会を通して新たに発見しました。

文責 東部地区部会 大橋 一成

# 11月定例会研修報告「そなエリア東京」

## 野外研修、72時間を自力で生き抜く

開館12年目のそなエリアは周囲の広大な公園ごと国の重要な「東京臨海広域防災公園」です。首都巨大地震を「東京直下72h TOUR」で体験し、支援が来るまでの過酷な3日間72時間を生き抜く知恵を学びました。壊滅した町の実物大ジオラマは危機感を呼び覚まし、参加委員からは、家族と安否確認方法や避難場所を確認する、自助の覚悟と共助の意識共有をしておきたい、など、心の下づくりの大切さを再認識する声が上がりました。また、コロナ禍では感染や重症患者に配慮した避難生活が必要と、新たな課題も提案された。「そなエル」心を再認識しました。

葛西南地区部会 高原 賢一  
文責



## あとがき

最近、「3年ぶりに〜」という言葉をよく耳にします。これは、コロナ禍で長く中止していたイベント等が開催された時に使われています。

今号でも、3年ぶりに様々な行事が開催された記事がありますので、青少年委員の活動も少しずつ復活してきた感じがします。

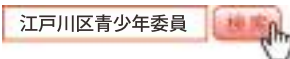
今後も子どもたちの笑顔のために活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

広報部一同

### 江戸川区青少年委員 ホームページ



こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。



### 青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会  
編集 広報部  
連絡 江戸川区文化共育部

健全育成課育成活動支援係  
☎ 03(5662)0357